

平成28年度 都市農村共生・対流総合対策交付金(山村活性化支援対策)事業実施評価書

1. 事業名

山村活性化支援交付金

2. 事業実施主体名

柳田地区山村活性化協議会

3. 事業概要

・事業目的

地域資源である「のとキシマツツジ」の苗木の生産者数とその売上げを伸ばすことで、関係農家の所得と雇用の増大を図る。

・事業費・交付額(単位:円)

事業費	2,538,627円	交付額	2,531,147円
-----	------------	-----	------------

・事業実施期間

平成28年 4月28日 ～ 平成29年3月28日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

当初計画に沿い、苗木の需要増等について研修会、NPO法人ののとキシマツツジの郷の総会などの機会に状況を報告し、生産の必要性を訴えてきた。
また、各事業執行についてはほぼ予定通り遂行することが出来た。

(2) 取組状況

本交付金の内容に沿う形で実施し、地域資源を活用する取り組みを展開できた。
特に「紙工房 みわ会」が和紙を花卉で染めたり押し花により製品開発に取り組むなど、新製品開発に向けた意欲が見られた。和紙による土産品開発は「のとキシマツツジ」の年間を通じた話題提供も期待できる。

(3) 事業実績

生産者は前年度末に2名が取り組みを表明し、その者が挿し芽による苗木生産に取り組む、苗が順調に生育していることは実績として評価できる。
また、29年度より生産取組の意思表示が2名あったことは成果と言える。

(4) 実施体制

取り組みは、NPO法人ののとキシマツツジの郷が中心となり、和紙生産団体など異業種との交流などで、年間を通して魅力伝える製品開発などへの意欲も出ていること、その製品販売は会員「道の駅 桜峠」の単独販売としておりこの実施体制で今後も継続して地域活性化や農村都市交流の推進を図りたい。

(5) その他事項

ホームページで苗木販売コーナーを設けたことで、全国より注文が少しではあるが届いている。

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標	目標値	実績値	達成率
・ 苗木生産者の増加	2人	2人	100%
・ 苗木の売り上げ(千円)	200円	0円	0%
・			

(計測方法) 1、苗木生産者の呼びかけは、総会、研修会及びNPO法人のとクリスマスツツジの郷の定期総会時などで行ってきた、生産者の目標値2名が各100本以上の挿し芽による苗木生産に取り組んだ。
2、29年度についても2名が苗木生産の意思表示をしている。
なお、苗木の販売は目標売り上げ増額値が満たなかったため0円とした。

・所見

平成28年末に能登地区4市5町の「のとクリスマスツツジ」が「いしかわ歴史遺産」として認定されたことで、今年春の「のとクリスマスツツジオープンガーデン」へ2観光会社がそれぞれ3回のツアーを実施するなど評価は高まってきている。特に柳田地区では「開花期のライトアップ」「屋根付きのとクリスマスツツジ」など話題を提供しており、訪問者が苗木を購入している場を目視してる。ただ、販路開拓を目的としたパネルやDVD制作は、柳田地区に拘らず能登全域も紹介しながら柳田の魅力を伝える内容でもよかったのではないかと感じた。